令和5年７月発行

ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線
第4回　三者協議　ニュース

このニュースは、ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線を今後も持続可能な路線とすることを目標に「住民」「奈良交通」「生駒市」の三者で話し合いをした内容をお知らせするものです。

今回は、前回の三者協議の内容を振り返った上で、地域住民が主体となった利用促進の取り組みを行うために、他地域の事例を参考に取り組みの案を話し合いました。
次回の三者協議では、具体的にこれから試行していく取り組みを決めていきます。「こんな取り組みがしたい」などのアイデアをお持ちの方、取り組むことが出来る方は、是非ご参加ください。

【開催概要】

日時：令和５年７月６日(木)18:40～21:00
場所：あすか野自治会館
参加者：34 名
（あすか野 26 名、白庭台３名、北田原町２名
辻町２名、西白庭台３丁目１名）

プログラム
①前回の振り返りと
今後の進め方
②事例紹介
③意見交換

１．前回の振り返りと今後の進め方

前回の三者協議で話し合われた内容を、最初に振り返りました。

※1　生駒市地域公共交通活性化協議会
詳細は HP(https://www.city.ikoma.lg.jp/0000001239.html)

前回協議での意見	三者協議と活性化協議会※1 との役割分担
〇実態やニーズを踏まえた路線改善の可能性について ・どのような時に誰が使っているのかを把握することが必要。 ・あすかのセンターから白庭台駅の利用が少ない。鉄道との接続が良くないことも一因であると考えられる。	**（三者協議）** ・今後の路線のあり方を住民と協働で話し合う。 **（活性化協議会）** ・バス事業者中心に運行形態の見直し案の検討を進める。
〇行政の補助の考え方について ・あすか野団地口は公共交通の空白地となる。 ・バス事業単体で採算をとるのは難しい。公共交通があることで人口が増加し税収が増えるなど、多角的な評価と予算配分が必要。	**（活性化協議会）** ・全市的に議論を進める。
〇利用促進の取り組みについて ・自治会でバス回数券を販売する。 ・長期的に若者（通勤・通学利用者）を呼び込む。　など	**（三者協議）** ・地域で出来る利用促進策を検討する。 **（活性化協議会）** ・市全体の取り組みや長期的な取り組みを検討する。

その後、生駒市から分科会の設置、今後の進め方について説明を行いました。
・三者協議で集約された地元の意見・利用促進策を踏まえ、路線ごとの検討を深く行うために、三者協議と活性化協議会の間に新たに分科会を設置することになりました。
・交通事業者へ燃料・物価高騰の支援を行うことで、路線再編までの猶予期間をさらに１年間延長し、令和７年３月までとすることが出来ました。
・今後の予定として、令和５年 12 月を目途に今後の進め方について方向性を定めていきます。そのため、利用促進の取り組みの試行と振り返りを繰り返していきます。

今後の進め方

R5

５月	第3回三者協議	3者の立場の理解 今後想定されるシナリオの共有
７月	第4回三者協議	利用促進　取組みの検討
８月	第5回三者協議	利用促進　取組みの検討
		取組みの試行
10 月	第6回三者協議	試行の状況報告・共有、中間検証 今後の取組み方についての検討 取組みの改善検討
12 月	第7回三者協議	今後の進め方について意見交換 試行の継続　or　方向の転換
		取組みの試行

R6

取組みの試行

10 月頃	対応策（素案）の最終決定
12 月頃	対応策の最終決定

R7

４月	新たな運行

※会議の進行状況を踏まえて、会議資料を一部修正

2. 事例紹介

本地域に効果の大きい取組みを創るため、参考となる他都市の事例を紹介しました。地域住民が主体となった先進事例を学んだうえで話し合いを進めました。

（紹介した事例）
・自治会を通じて住民にチケットの購入を依頼（長野県上田市）
・地元商店街組合等による買物客への乗車券進呈（富山県高岡市）
・協議会による市民サポーターの組織化（栃木県佐野市）
・コミュニティバス鹿ノ台線の買物補助券の配布（生駒市） など

コミュニティバス鹿ノ台線の
買物補助券の配布

3. 意見交換

事例紹介を参考にしながら、地域住民で取り組める利用促進策を考えるため、班に分かれて意見交換を行いました。どういう人を対象にするのか取り組みのターゲットを明確にして、地域で取り組むこと、行政・事業者に協力をお願いすることを話し合いました。

【話し合いで出された取り組み（抜粋）】

周知を図る取り組み

【ポスター等の掲出】
・地区内にポスターや回覧板で現状を周知し、利用を促す。
・あすか野地区以外の方にも、あすか野地区が困っていることを知らせる。

メリット付与の取り組み

【商業事業者との連携】
・バス利用者には、「さきめしいこま」「いこまバル」のチケットがお得になるようにする。
・スタンプカードを作り、奈良北高校に配布する。商店のスペースを借りて、スタンプが貯まった生徒にアイスを渡す。

【公共施設との連携】
・市役所、図書館などの行政施設を利用する場合には、バス利用者にお得になるクーポンを配布する。

機会創出の取り組み

【イベント等の実施】
・自治会館で行うカラオケイベントや麻雀大会などの地域のイベントに、あすか野地区外の人も来てもらう。
・飲食店とコラボして、飲み会のイベントを実施する。

【外出するきっかけの提供】
・生駒の商店のイベントやお買い得商品などの情報を流し、外出したくなるようにする。

現状把握の取り組み

【アンケートの実施】
・あすか野保育園等で、アンケートを実施し、どんなバスだったら利用しやすいか、交通事業者に伝える。

運行経費の負担の取り組み

【サポーター制度の設立】
・住民がサポーターになる。（クラウドファンディングなど応援する路線別に応募できる仕掛け、ふるさと納税？）
・市全体公共交通基金を募る。

【自治会等でチケットの購入】
・文化祭・夏祭りの景品で、バス回数券を配る
・自治会活動で積極的に貸切バスを利用する。

その他の取り組み

・白庭病院が運行するバスを統合する。
・バス運賃が高くなっても乗る。
・ノーマイカーデーを実施し、その日は運賃を安くする。
・駐輪場よりもバス運賃を安くする。

4. 今後に向けて

今回の話し合いで出された取り組み案の中から自分で取り組む案を選び議論を深めながら、実際に試行していきます。その状況をみながら、今後の進め方を検討していきます。

連 絡 先：生駒市 建設部 事業計画課
TEL 0743-74-1111 FAX 0743-73-3605

三者協議についての
生駒市 HP はこちら→